



しぶき 飛沫を浴びて



「輝きの本質」

新年度が始まって、早くも一か月が過ぎようとしています。校庭の木々は若葉を纏い、爽やかな風の中に初夏の気配が感じられる、実に心地良い季節となりました。

四月当初の緊張に満ちた空気もすでに和らぎ、杵崎高生の学校生活は、煌雪祭(体育祭)に向けた準備で、今まさに大きな盛り上がりの中にあります。新入生もまた、同級生や先輩、先生方、初めて学ぶ教科・科目、部活動など、さまざまな出会いの中で、杵崎高校での新たな一歩を踏み出し始めてくれているところです。

さて、本年度のキャッチフレーズも、昨年度に引き続き、「一人ひとりが輝く、みんなが輝く、生き生き伸び伸び「杵崎高校」2.0」としました。年度当初に当たり、私が考える「輝き」について、少し申し述べたいと思います。

そもそも私たちは、自分が輝いているかどうかを、自分自身ではなかなか知ることができません。なぜなら、人は必死であったり、何かに夢中になっていたりする時は、自分を振り返る余裕などないからです。自ら「輝こう。」として輝くのではなく、ただ目の前のことに真剣に向き合っている——その姿が、結果として周囲の人の心を動かし、眩しいほどに輝いていると感じさせるのだと思います。

学校という場所で生徒たちの姿を見ていると、そのことを強く感じます。例えば、受験生で言えば、輝いている瞬間とは、合格発表の日——自分の受験番号を見つけた、あの瞬間でしょう。あの瞬間は、確かに眩しいほどの輝きに満ちています。しかし、本当の意味での輝きは、その少し前の時間の中にあるのではないかと私は考えています。思うように成績が伸びない日。答案を握りしめ、悔しさに涙する夜。「もう無理かもしれない。」と思いながらも、再び机に向かう瞬間。そこには喝采もなければ、誰かに見せるための舞台もありません。それでも逃げずに向き合い続ける、その姿には、静かで、しかし確かな光が宿っています。それは結果としての輝きではなく、内側から滲み出る輝きと言えるでしょう。もちろん、その渦中にある本人は、その輝きに気づくことはありません。後になって初めて、「あのときのあなたは本当に素敵だった。輝いていた。」と誰かが語る——。そんな瞬間にこそ、輝きの本質があるのではないのでしょうか。合格の瞬間に零れ落ちる涙がひときわ輝いて見えるのも、そこに至るまでの刻苦勉励の歩みがあったからに他なりません。

『飛沫を浴びて』第236号より、「今月の玲瓏星」というコーナーを設けています。「その生徒本人は気づいていないけれども、今、輝いている生徒」に焦点を当て、その輝きを紹介することで、その努力を讃えるとともに、すべての杵崎高生に「輝きの本質」について考える機会にして欲しいという思いからです。輝きとは、決して特別な舞台の上だけにあるものではありません。また、誰かに称賛される結果だけを指すものでもありません。授業に真剣に向き合う姿。部活動で仲間と励まし合いながら汗を流す姿。誰かのために、さりげなく手を差し伸べる瞬間。そうした日常の中にこそ、一人ひとりの確かな輝きがあります。学校生活のそんな一場面を切り取って、今後も紹介していければ、と思っています。

新しい年度の歩みは、まだ始まったばかりです。生徒一人ひとりが、それぞれの場所で自分らしく歩みながら、気づかぬうちに輝きを放っている——。その光が重なり合い、杵崎高校という学び舎を「生き生き伸び伸び」とした温かな光で満たしてくれることを、心から願っています。

令和八年度も、杵崎高校、杵崎高生への変わらぬご支援をよろしく申し上げます。

校長 重村 恭彦



◆入学式（4月8日（水））



祝  入学



《新入生代表宣誓》

1年 2組 濱口 結愛 さん



《新入生代表挨拶》

1年 1組 西原 伊桜里 さん



《歓迎の言葉》

3年 5組 宮野 幸一 さん



入学式では、新入生代表の濱口結愛さんが力強く代表宣誓を行い、西原伊桜里さんが、仲間と協力して様々な困難や壁を乗り越えていくと代表挨拶を行いました。在校生代表では、宮野幸一さんが、凡事徹底などの壺岐高生として大切にしていることを交え、歓迎の言葉をユーモラスに述べました。また、入学式の後には生徒会主催の歓迎セレモニーが行われました。

◆新入生校内研修 第81回生本格始動！（4月10日（金）～14日（火））



《自己紹介》



《クラス目標発表》

一学年スローガン
「STEP」自分で判断し決断できる生徒を目指して



《校歌コンクール》



《※アサーショントレーニング》

※アサーション：自分も相手も大事にするコミュニケーションのこと。

◆今月の玲瓏星

『勇気を振り絞った人助け』



- ☆2年1組 長嶋 日奈乃 さん☆
- ★2年1組 野元 理彩 さん★
- ☆2年1組 森島 愛 さん☆

3月某日、日奈乃さん、理彩さん、愛さんが株式会社イチヤマ様で買い物をしている時、近くにいた店員の方が倒れたそうです。瞬時に3人はその店員に駆け寄り、周りに助けを求めました。その時の心境を尋ねると、理彩さんは、「人が倒れたのを初めて見たのでビックリし、正直怖いという気持ちもあったが、助けを呼ばなきゃと思い、体が勝手に動いた。考える前に体が動いていた。」と述べました。恐怖で足が竦んだにも関わらず、人助けのために動いた3人は、今月の玲瓏星であり、本校としても非常に誇りに思います。

◆新転任者紹介

※（ ）内に役職または担当教科を、その右に前任校等を表しています。

- もりや たけあき
守屋 剛明（教頭）長崎県教育庁高校教育課
- みと よしひさ
水戸 義久（保健体育）佐世保中央高・定時制夜間部
- ふじせ けいすけ
藤瀬 敬輔（英語）大村高校
- やまうち とおる
山内 徹（生物）島原高校
- とくなが ももこ
徳永 桃子（国語）佐世保工業高校
- ほんだ ゆうせい
本多 悠生（数学）新規採用
- やまさき えり
山崎 衣理（国語）新規採用
- ご きんしん
伍 錦鑫（中国語）上海外国語大学大学院
- すずき たくま
鈴木 拓磨（事務）島原工業高校

よろしくお願ひします！

◆行事予定（4/22現在）

1	金	体育祭予行
2	土	
3	日	【憲法記念日】
4	月	【みどりの日】
5	火	【こどもの日】
6	水	【振替休日5/4】
7	木	【代休5/9】
8	金	煌雪祭(体育祭)設営
9	土	煌雪祭(体育祭)
10	日	
11	月	煌雪祭(体育祭)予備日
12	火	夏服販売①(昼休み)予定 胸部レントゲン① 眼科検診①
13	水	単元テスト③ PTA総会・学年・学級PTA 尿検査(予備)
14	木	単元テスト③
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	【代休5/23】
19	火	生徒評議員会
20	水	体育部主将会
21	木	LHR(生徒総会)
22	金	第1回英検1次(放課後) 高総体前(7校時カット)(~6/3)
23	土	オープンスクール①
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	LHR(文化祭企画検討①②) 行進練習(~6/3)
29	金	
30	土	
31	日	

◎ 壱岐市主催の入市式が開催されました。(4/7)

離島留学生の新入生5名が、心温まる歓迎を受け、壱岐市から、記念品(Tシャツ)が手渡されました。離島留学生代表挨拶で、中谷泰盛(なかにたいせい)さんが、コースを選んだ理由と意気込みとして、①中国語を本格的に学びなおしたい、②中国語を将来ビジネスの場で生かしたい、③壱岐島で地域の温かさに触れ、自分自身と向き合いながら成長していきたい、と希望を力強く語りました。



◎ 東アジア歴史・中国語コース新入生交流会を行いました。(4/7)

今年度は、離島留学生5名、島内生3名の計8名の新入生を迎えました。

冒頭に重村校長より、昨年度の進路状況や先輩コース生の実績の披露があり、「1年生も高い目標を掲げ、活躍をして欲しい」と言う願いが伝えられました。

しま親さんと保護者、関係職員等が、新入生を囲んで、食事を共にしながら、一人ひとりがこれからの思いを述べ、決意を新たにしました。



◎ 第1回コース交流会、1年生の心を解きほぐす集会となりました。(4/9)

<2・3年生の声>

・私たちが、1年生の時は、やはり、緊張したため、どうしたら本音や話しやすい雰囲気を作れるか、この日のためにしっかり考えてきました。

<1年生の声>

- ・先輩がフレンドリーで、優しかった。目標は、中国語を喋れるようになることです。
- ・先輩が、優しく接してくれた。しま親さん生活においてもわからない所をきちんと教えてもらえます。
- ・先輩が明るく、コースのことや先輩の経験談を話してもらい、気持ちが楽になりました。



～コース生20名のスタートです～

◎ 伍 錦鑫(ゴ キンシン)先生から着任のご挨拶

皆さん、こんにちは!壱岐にきて、2週間です。壱岐高校は、校内が清潔で、温かく、落ち着いた雰囲気を感じられる学校です。

先生方や生徒の皆さんは、礼儀正しく、互いに思いやりを持って接しており、和やかで心地よい空気に包まれています。

今年は、自分自身をさらに成長させることを目標とし、生徒一人ひとりと向き合い、より良い授業づくりを目指したいと考えています。また、地域や学校に貢献できる1年にしたいです。

趣味は、料理とアニメ鑑賞です。気軽に声をかけてください。

*1年間、深川文先生と共に中国語の指導にあたります。どうぞよろしくお願いいたします。

